

一人ひとりの市民が主役

2014

9月

No.812

(平成26年9月17日発行)

阿久根

報

元気な
先輩に
乾杯。

目次

CONTENTS

- 2 P 特集 元気な先輩に乾杯。
- 6 P 『阿久根みどこい祭り』のお知らせ
- 8 P 第16回あくね洋画展開催
- 10 P 鶴翔高校創立10周年記念特集 (第4回)
- 11 P まちの話題 みんなのアルバム
- 14 P 阿久根市小・中学校弁論大会 (小学生の部)
- 16 P にぎわい交流館阿久根駅情報 駅file③
- 17 P 阿久根市政ニュース
- 18 P 働く女性の家 後期主催講座のご案内
- 19 P 市役所からのお知らせ
- 20 P 健康コーナー
- 22 P 暮らしの情報
- 24 P 読者のお便り紹介コーナー
図書館へ行く
- 25 P みんなのうた、うぶごえ、おくやみ
- 26 P フレスマ+アクネの元気者

いきいきサロン浜区はまんこら会と
第2阿久根学童クラブとの交流会

元気な先輩に乾杯。



いきいきサロン町区若竹会と阿久根学童クラブとの交流会

6年後には
4割が65歳以上

阿 久根市の総人口は、平成26年4月1日現在で2万2,385人、うち65歳以上の高齢者は、8,176人(36.5%)と約3人に1人が高齢者です。

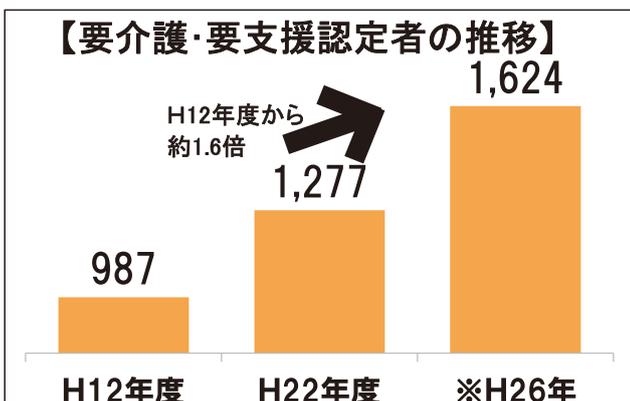
高齢者の内訳は、65歳から74歳の前期高齢者が3,278人で総人口の14.6%、75歳以上の後期高齢者は4,898人で総人口の21.9%を占めています。

高齢化率は今後も上昇していきます、平成25年3月に国立社会保障・人口問題研究所が推計した阿久根市の将来推計人口では、平成32年には高齢化率が40.7%となり、4割以上の方が65歳以上の高齢者になると推計されています。

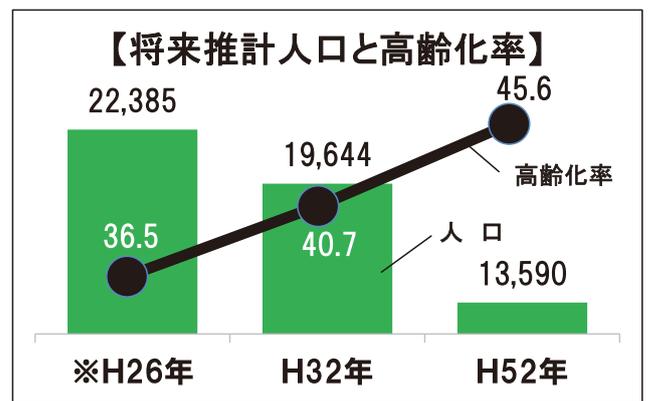
年々増加している 要介護・要支援認定者

阿久根市の要介護者、要支援者と認定された人数は、平成26年6月30日現在で1,624人と、介護保険制度が始まった平成12年と比較すると、約1.6倍に増加しています。

いったん介護が必要となると、



※H26年は、平成26年6月末の数値



資料：国立社会保障・人口問題研究所によるデータ
※H26年は、平成26年3月末の住民基本台帳の数値

元気であったころの生活には、なかなか戻りにくいのが現状です。そのため、介護の期間は長期化し、介護する人の負担はますます重くなっていきます。

県の中でも高い水準で少子高齢化が進んでいる阿久根市。介護という問題は、行政や家庭内だけの問題ではなく、地域全体の問題として取り組む必要があるのではないのでしょうか。

今月号では、現場で活躍されているお二人に現状と対策等についてお話を伺いました。

◀いきいきサロンの活動が盛んな橋之浦東区。今年7月に『支え合いマップ』が完成し、地域で支援が必要な方や逸材を改めて認識することができたそうです。



『支え合いマップ』で地域の福祉力UP！

『いきいきサロン』で「閉じこもり」を解消

現

在、『いきいきサロン』は、市内48地区で活動しています。地域の区長をはじめ、民生委員、在宅福祉アドバイザー、福祉協力員などのボランティアの方々を中心になって活動しています。

高齢者が、寝たきりや認知症になる原因の一つとして言われている「閉じこもり」。『いきいきサロン』では、集まった一人ひとりが主役となり、仲間と会話をし、大声で笑い、みんなで楽しい時間を一緒に過ごしています。

ある地域では、子どもさんを亡くし、家に閉じこもりがちになっていた方を、地域アドバイザーが根気よく声をかけをされた結果、今では、一番に『いきいきサロン』に駆けつけて来るようになりました。また、『いきいきサロン』は、高齢者のためだけの会ではありません。地域には、高齢者を含め、

いろんな特技を持った方々がいます。絵や書道が得意であったり、歌や踊りが上手だったり、たくさん逸材が眠っています。

『いきいきサロン』は、そのような地域の逸材の方々の活躍の場となっており、それが『生きがい』へとつながり、地域の『福祉力』を高める元にもなっています。

しかし、「家に閉じこもりがちになっている」「こんな特技を持っている人がいる」という情報がなければ、なかなかうまくいきません。

地域で支え合うために『支え合いマップづくり』

そこで、そのような地域の情報を集めるための活動は、昨年から市の委託を受けて阿久根市社会福祉協議会が実施している『支え合いマップづくり』です。

『支え合いマップづくり』では、地域の中で人付き合いが少ないといった「気になる方」などをどんなマップ（住宅地図）に落とし



阿久根市社会福祉協議会
ボランティアコーディネーター
東新 秀子さん

込むことをしています。その結果、それまで誰も気づかなかったような「気になる方」が見つかり、その方を地域で支援するため、自分たちでできる活動は何かないだろうか、新たに『いきいきサロン』を立ち上げたところも出て来て、地域としてもさまざまな取り組みを始めるきっかけとなっています。

現在、『支え合いマップづくり』は40の地域が実施していますが、市ではこの活動を市全域に広げたいと考えています。

「まだ、自分たちの地域では作っていない」「自分たちの地域でも作りたい」と思われましたら、ぜひ、阿久根市社会福祉協議会までご相談ください。

※問い合わせ先

阿久根市社会福祉協議会
☎0996(72)3800

介護は家族との生活を 見つめ合うチャンス



▲通いサービスが生活の一部となることで、利用者の自宅での自立した生活につながる。

介護に対する 家族の理解

もし、自分が介護が必要になったとき、在宅で生活をされたい方が7割、施設が3割ということに耳にします。その3割の方全員が施設を利用できるかというところまできません。そうすると、今

住んでいる家で生活をしたいかなければならないことになりません。「家族だから介護をしなれば」と思っても、仕事や家庭などがあり、家族だけでは



認知症介護指導者
社会医療法人 昴和会
小規模多機能ホーム昴和院
管理者 田上ゆかりさん

べてを支えていくことは厳しいものです。また、突然のことで、どうしたらいいのかと、介護サービスの利用までに踏み出せないこともあるかと思えます。

その時は、市役所の地域包括支援センターや介護サービス事業者、かかりつけ医などに、積極的に相談してみてください。必ず糸口が見つかるはずですよ。

また、在宅の介護サービスで一番大事なことは、サービス事業者と利用者との信頼関係を作ること。もちろんですが、介護に対する家族の理解が最も大事です。家族の理解がないと、ご近所や地域の関係も広がらず、介護サービス利用の際限がなくなるからです。

というのも、在宅である限り、介護サービスが入っていない時間帯や日などが必ず出てきます。例えば、デイサービスを利用した場合、朝9時から夕方4時まで

はデイサービスに行っていますが、それだけで1日は終わりません。本人にとっては、まだ1日の3分の1しか終わっていません。残りの3分の2はどうするかということになります。

家族の方は、日々忙しい毎日を送っていらつしゃると思えますが、その空いている時間に介護に入ってもらったり、地域やご近所の方に安否確認を頼んだりするなど、一日一日の生活をどのようにしていくかということが問題になってきます。

今後、ますます介護サービスの利用者が増えていくことが予想される中、介護に対する家族やご近所等の理解がなければ、お互いに支え合ったり、生活を維持することはできません。

それは、家族との生活やご近所同士との付き合いを見つめ直すチャンスなのではないでしょうか。

「認知症介護指導者」とは？

認知症介護の専門職員として、介護専門職の方々の人材育成のほか、地域の指導者としての役割も担っています。県内には、同様の資格を持つ方が22名いらつしゃいます。

『認知症予防講演会』

「早めに認知症に気づいたり、
認知症の方を支援するため
もっと認知症について
知ってみませんか」

大川診療所医師（市比野記念
病院院長・認知症サポート医）

黒田 篤先生



- 開催日 平成26年10月1日(水)
- 時間 午後6時30分～
- 場所 折多地区集会施設
- 内容 『今日から始める認知症予防』

- 開催日 平成26年10月15日(水)
- 時間 午後6時30分～
- 場所 阿久根市老人福祉センター
- 内容 『身近で支える認知症』

※問い合わせ先

阿久根市地域包括支援センター

☎0996-73-1272（直通）

◎認知症

気づきのポイント



認知症は早期発見・早期治療が重要です。認知症は、現時点では根本的に治すことは難しい病気ですが、中には治療可能なものや進行を遅らせたり、症状を改善することが可能なものもあります。次のような症状が認められたら、かかりつけの医師や地域包括支援センターへ相談しましょう。

- ・今日の年月日や曜日がわからない。
- ・時間や場所の感覚が不確かになった。
- ・同じことを何回も言ったり聞いたりする
- ・置き忘れやしまい忘れが目立つようになった。
- ・物の名前が出てこなくなった。
- ・「あれ」「それ」などの代名詞が多くなった。
- ・以前はあった関心や興味がなくなった。
- ・ささいなことで怒りっぽくなった。
- ・財布や大切にしていた物が盗まれたと言う。
- ・急に生活がだらしなくなった。
- ・料理ができなくなった。
- ・小額の買い物の支払いにいつも一万円札を出す。
- ・複雑なテレビドラマの内容が理解できない。

日常生活で困った時は、 気軽に相談を

地域包括支援センターは、住み慣れた地域

で安心して、自分らしく暮らしていくために、高齢者やその家族のための身近な総合相談窓口です。

例えば、「独り暮らしの方で、最近、姿を見ないが元気にされているだろうか」「買い物に行けなくなり、生活は大丈夫かな」「介護保険の申請はどうしたらいいか」といった相談を受けています。

ほかに、「家族が認知症では？」「虐待されている高齢者がいた」などと、あらゆる相談が寄せられます。

また、介護予防教室を開催したり、介護保険の認定で要支援1・2の方のケアマネジャーとなり、皆さまが自立して生活で

きるよう支援を行っています。

高齢化が進む中、認知症の高齢者も増加しています。そこで、市では「認知症予防講演会」「認知症サポーター養成講座」を開催し、認知症となっても住み慣れた地域で生活ができるように、さまざまな取組や活動を行っています。

介護に関すること以外にも健康や福祉、医療、生活等で困った時はお気軽にご相談ください。

※問い合わせ先

阿久根市地域包括支援センター
市役所1階 4番窓口

☎0996(73)1272(直通)



「高齢者の方が安心して暮らせるお手伝いをいたします」
阿久根市地域包括支援センター
スタッフ一同

魅 味

2014 みどり祭り

見 10/11 10/12 美

◎問い合わせ先：市役所 商工観光課 ☎0996-73-1114(直通)

【交通規制のお知らせ】10月11日(土)午後5時～午後8時の間は、国道3号阿久根駅前交差点から日嗣屋菓子舗前（大丸町交差点手前）まで車両通行止めとなります。
10月12日(日)午後7時～午後9時の間は、新港外港周辺が車両通行止めとなります。

詳しい情報は、
10月8日(水)
朝刊の折り込み
チラシをみてね。



10月11日(土)

踊り巡行

■場所 市街地一帯

■時間 日中の午後4時ごろまで

大丸町通り会の踊り子が巡行して踊りを披露し、祭りを盛り上げます。

味どろい商店街 屋台村

■場所 本町ふれあい公園（本町通り会）

・にぎわい交流館阿久根駅前（阿久根駅前通り会）

■時間 午後5時～午後9時

「見どろいパレード」「みどろいハンヤ総踊り」の間帯に合わせて屋台村が出現。グルメやお子さまが楽しめるアトラクションのお店が並びます。

見どろいパレード

■場所 国道3号阿久根駅前口

タリーから日嗣屋菓子舗前（大丸町交差点手前）まで

■時間 午後5時10分～

「シークイーンあくね」やアクネ大使の「かなぶんや」さん、「HAYABUSA」さんを先頭に、神村学園高等部吹奏楽部のマーチング、幼稚園・小学校の鼓笛隊などがオープニングを飾って行進します。

みどろいハンヤ総踊り

■場所 国道3号阿久根駅前口タリーから日嗣屋菓子舗前（大丸町交差点手前）まで

■時間 午後6時～午後7時50分

市民総出の阿久根ハンヤ節踊り。踊りの伴奏は、地元奏者の三味線や五つ太鼓による阿久根ハンヤ節の生演奏です。

ハンヤ総踊りは三部構成です。第一部と第二部は、参加者全員で基本のハンヤ節を踊ります。このときは創作やアレンジした踊りはご遠慮ください。

第三部は、それぞれ出場連ごとに趣向をこらした創作やアレンジした踊りを披露してください。基本のハンヤ節踊りでも構いません。

NEWS!

10/12(日)

にぎわい交流
フェスタ開催



「おれんじ食堂」「阿久根駅」をデザイン、コーディネートされた水戸岡鋭治氏

■場所

にぎわい交流館阿久根駅

■時間

午後1時～午後4時30分

郷土芸能などが披露されるほか、午後3時15分から工業デザイナーで「おれんじ食堂」「阿久根駅」をデザイン、コーディネートされた水戸岡鋭治氏と西平良将市長による「駅からまちなかへ～公共デザインとこれからのまちづくり～(仮称)」と題したトークセッションも行われます。

なお、当日は阿久根駅～番所丘公園の間でシャトルバスが運行されていますので、ぜひご利用ください。

※問い合わせ先 企画調整課

☎0996-73-1214(直通)



タカエビ丼

あじめし

当地グルメが大集合します。ほかにも、たくさんのお店の飲食の屋台が並びます。

魅どっこいフェス

■場所

番所丘公園おまつり広場

■時間

午前9時45分～午後4時

音楽を中心としたステージイベントです。司会は、アクネ大使の「かなぶんや」さん。なお、スケジュールは次の通りです。

- ・午前9時45分～ 薩摩毘沙門太鼓響流 (和太鼓の演奏)
- ・午前10時～ 開会 市長あいさつ
- ・午前10時10分～ グルメ&ゆるキャラ紹介

- ・午前11時～ 列車戦隊トッキュウジャー ショー
- ・午前11時55分～ ミルキースマイルズ
- ・(地元アマチュアバンド)
- ・午後0時20分～ TODOS
- ・(地元アマチュアバンド)
- ・午後0時45分～ おごじよぐず (ジャズボーカルデュオ)

- ※鹿児島弁で歌います。阿久根駅ライブに出演しています。
- ・午後1時25分～ HAYABUSA (ポップスデュオ)
- ※アクネ大使の佐潟武さんがボーカルを担当。

食の祭典

■場所

番所丘公園おまつり広場

■時間

午前10時～午後4時

- ・午後2時5分～ 熊本ロック組 (ロックバンド)
- ※アクネ大使の「かなぶんや」さんがドラムを担当。
- ・午後3時5分～ 列車戦隊トッキュウジャー ショー

▽味どっこい屋台村

「あじめし」「タカエビ丼」「さばめし」はもちろん、市内外のご当地グルメが大集合します。ほかにも、たくさんのお店の飲食の屋台が並びます。

▽味どっこいマルシェ

阿久根の特産品の販売のほか、味どっこい屋台村に出店しているご当地の物産を販売します。また、特産品のプレゼントも企画しています。

▽ゆるキャラ集合

「ぐりぐり」「さくら」をはじめ味どっこい屋台村に出店しているご当地や阿久根にゆかりのある地域のゆるキャラが大集合します。

美どっこい
花火大会



■場所 阿久根漁港(新港)

■時間

午後7時30分～午後8時30分

夏とは一味違う秋の夜空に打ち上がる花火です。そのほか、個人の方がタイトルをつけた記念花火も打ち上がります。

※問い合わせ先 阿久根商工会議所

☎0996(72)1185



受賞された皆さま (市民会館)



◀ 8月23日のオープン初日には、向吉文男先生によるギャラリートークが行われ、来場者は熱心に聞き入っていました。

『第16回 あくね洋画展』開催

～さまざまなテーマで描かれた
力作345点を展示～

「第16回あくね洋画展」が、市民会館大ホールで8月23日から31日まで開催されました。来場者は、過去最高の1,570人が訪れ、阿久根の風景や人物などさまざまなテーマで描かれた力作345点が展示されました。

今回は、市内外から一般・高校生の部209点、ジュニアの部(小・中学生)1,074点の応募がありました。審査員からは、昨年が続いて作品のレベルが上がってきており、賞や展示数が限られる中、審査が難航したとのことでした。

なお、今回は平成27年10月31日から11月8日までの日程で、「第30回国民文化祭あくね洋画展」を開催します。応募要項については、後日、掲載します。

今回は、市内外から一般・高校生の部209点、ジュニアの部(小・中学生)1,074点の応募がありました。審査員からは、昨年が続いて作品のレベルが上がってきており、賞や展示数が限られる中、審査が難航したとのことでした。

なお、今回は平成27年10月31日から11月8日までの日程で、「第30回国民文化祭あくね洋画展」を開催します。応募要項については、後日、掲載します。

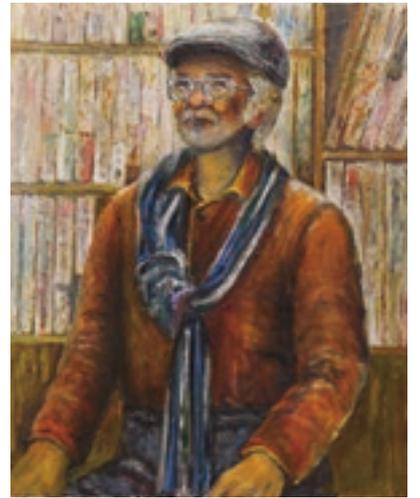
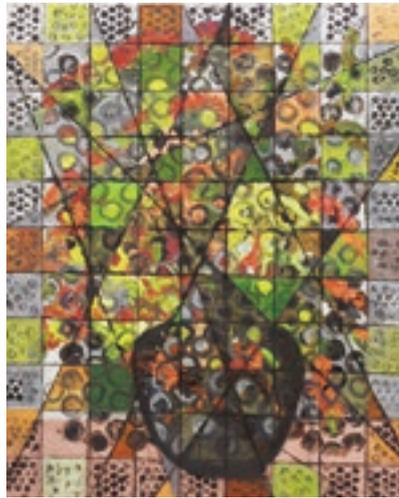
◎ジュニアの部 (小・中学生) (敬称略)

賞名	氏名	画題	学校名
あくね洋画大賞	龍川 大晴	楽しいジャングルジム	下水流小3年
阿久根市長賞	池田 丈児	とのさまバッタをさわりたいあい	田代小1年
阿久根市議会議長賞	奥園まりあ	いつもと違う目線から	鶴川内中1年
学校賞	田代小学校		
県美術協会賞	小北 典	静まりかえった校庭のすみ	湯之尾小6年
南日本新聞社賞	尾原 美菜	山たろうガニをとったぞお	田代小3年
特選	大野 彩那	かわいザリガニ	出水小1年
特選	加田野玖人	大きいカニを見つけたよ	脇本小2年
特選	九玉珠里亜	カブトムシのようちゅう	九玉小2年
特選	野崎 月愛	きれいな宮崎神社	脇本小4年
特選	瀬崎 歩夢	竹馬乗れた	本浦小4年
特選	黒崎 一葉	気合いの入る景色	田代小5年
特選	新田 杏梨	音楽室	平尾小5年
特選	大田 桃子	春の霧島神社	大川小6年
特選	児玉 結菜	夕焼けの西照寺	出水小6年
特選	畠納 羽	そうじした後のろうか	荘中2年
特選	金崎 百映	私たちの海	阿久根中3年
ギャラリー賞	木下 航瑠	ふじこおばちゃんとあやとり	田代小4年
ギャラリー賞	山下 孔明	野田寺	野田小6年
ギャラリー賞	江口 蓮	バッタとなかよし	尾崎小1年
ギャラリー賞	小野寺優麻南	夏色の竹ん子山	田代小5年

◎一般・高校生の部 (敬称略)

賞名	氏名	画題	地域
あくね洋画大賞	田中 絹子	ショー・ウィンドー(Ⅱ)	伊佐市
阿久根市長賞	石井 明子	ハーモニー 花Ⅱ	出水市
阿久根市議会議長賞	永原美津子	宝庫	阿久根市
阿久根市教育長賞	川崎 貴朗	ヨーロッパの家具	鹿児島市
委嘱作家賞	水流園揚子	満ちゆく刻	南さつま市
阿久根市文化協会賞	鮫島 和子	陽ざしの中で	さつま町
県美術協会賞	松木 功	磯Ⅳ	阿久根市
奨励賞	田尻幸一郎	奄美の森	いちき串木野市
奨励賞	通島 義信	青いターバンの少女が通る静物	出水市
奨励賞	樋渡 史生	ラテンのリズムで	薩摩川内市
奨励賞	湯田もり子	秋模様	出水市
奨励賞	坂口 昇市	伊佐の溜池	始良郡湧水町
奨励賞	淵上 昭東	牛之浜海岸	水俣市
奨励賞	山元 敏弘	Gravity(重力)	阿久根市
奨励賞	梅田 伸子	毎日が日曜日	出水市
奨励賞	西元 朝子	あじさいの園	薩摩川内市
奨励賞	有満 徹	阿久根沖海潮流の舞	鹿児島市
委嘱推奨	時内 一行	garasubin 9	阿久根市
委嘱推奨	渡瀬 俊輔	燦燦	出水市
招待推奨	藤原 和郎	夏がくれば...	鹿児島市
高校生賞	山下紗弥美	本を読む少女	出水高校
高校生賞	野平 英	静物画	出水商業高校
高校生賞	小川 楓	校舎入口	薩摩中央高校
ギャラリー賞	中山 勝久	夕映えの阿久根港	阿久根市
ギャラリー賞	児玉 信子	土用波	阿久根市
ギャラリー賞	梅田 正和	お待ちせ	出水市

『第16回あくね洋画展』開催



▲阿久根市長賞（一般・高校生の部）
『ハーモニー花Ⅱ』
石井 明子（出水市）

▲市議会議長賞（一般・高校生の部）
『宝庫』
永原美津子（阿久根市）



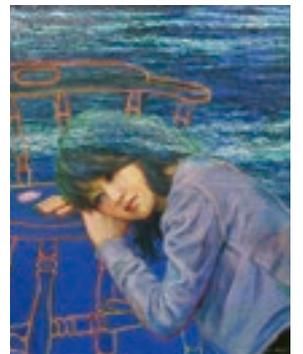
『シヨール・
ウィンドー』
田中 絹子（伊佐市）

あくね洋画大賞

一般・
高校生の部



◀教育長賞
（一般・高校生の部）
『ヨーロッパの
家具』
川崎 貴朗
（鹿児島市）



委嘱作家賞▶
（一般・高校生の部）
『満ちゆく刻』
水流園揚子
（南さつま市）



▲市議会議長賞（ジュニアの部）
『いつもと違う目線から』
奥園まりあ（鶴川内中1年）



『楽しい』
ジャングルジム』
龍川 大晴
（下水流小3年）

ジュニアの部

あくね洋画大賞

（ジュニアの部）



◀阿久根市長賞（ジュニアの部）
『とのさまバツタを
さわりたいあい』
池田丈児（田代小1年）



▲県美術協会賞
（ジュニアの部）
『静まりかえった校庭の
すみ』
小北 典（湯之尾小6年）



▲南日本新聞社賞
（ジュニアの部）
『山たろうガニをとった
ぞお』
尾原 美菜（田代小3年）

鶴翔高校
創立10周年
集 第4回
特 第

博多阪急の 「うまちか甲子園」 初出場！



▲実演販売を行った鶴翔コロッケと各商品

10周年を迎え、ますます活発な鶴翔高校の教育活動。最近では外部との連携を図った活動が増えています。

そこで今月は、8月23日・24日に福岡の博多阪急で行われた「第3回うまちか！甲子園」と、就職試験等を控えた3年生が、阿久根ロータリークラブの皆さまのご協力により、8月1日に開催された模擬面接についてお伝えします。

■博多阪急

「うまちか！甲子園」初出場

今年初めて参加した「うまちか！甲子園」では、豚みそなどの加工品のほか、一学期から作成してきた「鶴翔コロッケ」の実演販売を行いました。

最初は不慣れで戸惑っていた生徒たちも、時間が経つにつれてお客さまに積極的に声をかけられるようになり、商品が売れたときには溢れんばかりの笑顔で輝いていました。

両日とも、ほとんど休憩なしで販売した結果、準備していた2千個のコロッケをすべて完売することができました。

引率した食品技術科の西垂水武教諭は「生徒たちががんばりはもちろんのことですが、平野ルミ子先生のご指導や市役所の協力により、無事、成功裏に終えることができました。生徒たちにとっても、今回のことで、今後の活動の大きな自信につながるのでは」と話していました。

■阿久根ロータリークラブが 就職面接のコツを指南

就職希望の3年生37人を対象に、阿久根ロータリークラブの会員15人が面接官となり、模擬面接が行われました。

指導を受けた生徒は、これからの就職試験に役立てようと貴重なアドバイスをメモに取るなど、一生懸命学んでいました。



面接官から志望動機や自己PR、気になるニュースなど次々と質問を受けていた生徒たち

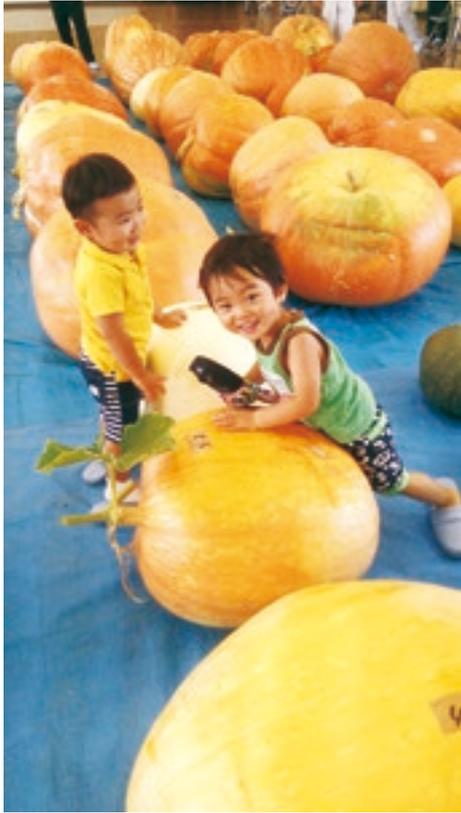
巨大カボチャがどてっと127個

二二 笠地域村おこし有志会主催の日本一どてカボチャコンクール鹿児島県大会が、協本地区公民館で開催されました。

当日は、イタリア料理イルチブレッソのオーナーシェフ、古畑圭一朗氏を講師に招き、ジャンボカボチャを使用した彫刻の実演・指導教室や地元出演者による踊り、バンド演奏なども行われ、大勢の来場者でにぎわっていました。なお、大会結果は次の通りです。

■重量賞の部

- ・一般 花田初男(179・5kg)
- ・小学生 田淵翔太(67・0kg)



来場者は、展示されている大きなカボチャを軽く叩いて音を聞いたり、抱きかかえたりするなどして楽しんでいました

育て、阿久根の漁業後継者 中高生が水産教室で漁師体験

▶北さつま漁協青壮年部からロープワークを学ぶ中学生



◀北さつま漁協女性部から魚のさばき方を習う鶴翔高校の生徒

漁

業後継者対策推進協議会(北さつま漁協、阿久根市、市内中学校で構成)主催の水産教室が、8月20日に行われ、市内の中学生24人が参加しました。

生徒たちは、地元漁業者から魚の一本釣りや北さつま漁協青壮年部からロープワーク、同漁

協女性部から魚の調理方法を学んでいました。

また、8月28日には、鶴翔高校食品技術科2年生の32人が、同漁協女性部から魚のさばき方などを学び、タカエビのエビマヨと魚のロール揚げの料理に挑戦していました。



30歳は全員集合！
今年で2回目となる
『三十来運動会』開催

阿久根の4中卒の同年同士
みんなで阿久根を元気に！

▶赤・青の組にわかれて
長縄跳びや全員リレーな
ど、8種目の競技で汗を
流す参加者。



◀「初対面がほとんどだったけど、競技を重ねるうちに、お互いの距離が近くなって楽しかった」と話す参加者も。



8月15日、市総合体育館で今年度、30歳を迎える市内4中学校を卒業した約60人が、同年同士で交流を深めようと、「華の50歳組」ならぬ「三十来運動会」を開催しました。4中学校の卒業生代表15人の実行委員会が中心になって開催したもので、1つ上の先輩方から始まり、今年は2回目。委員の徳田哲志さんは「今後は、みんなで見どこい祭りに参加したり、ボランティア活動等をして、阿久根を元気にしたい」と話していました。

体験学習



脇本小6年PTA主催の
地引き網体験



7月27日、脇本海岸で脇本小学校6年生PTA主催の地引き網体験が開催され、児童や保護者ら約90人が参加しました。引き揚げた網には、キスやイカ、小アジなど60kg以上もかかる大漁で、参加した子どもたちは大喜びしていました。

交流学習



鶴川内中の「よかどし」交流学習で
先輩中学生と3小学校の児童が交流

8月26日、鶴川内中学校で、鶴川内・折多・田代小学校の5、6年生24人と、鶴川内中学校1、2年生32人が「よかどし」交流を行いました。中学進学への意識化を図る目的で毎年開催しているもので、3小学校の子どもたちは、午前中は部活動を体験し、午後是一緒にモーターを作る理科の実験教室を通して、先輩と交流を深めていました。

まちの話題 みんなのアルバム

イベント



ただ今、部員を募集中です！

8月2日、3日に南九州硬式少年野球連盟ドリームリーグ第4回鹿児島大会が、市総合運動公園野球場および多目的グラウンドで開催されました。九州内の小・中学校19チームが参加し、熱戦が繰り広げられました。地元出場のオール阿久根中学部は、第3位の成績でした。

南九州硬式少年野球連盟 ドリームリーグ第4回鹿児島大会

イベント



8月17日、脇本塘町川沿いの通りで「納涼・わきもと元気祭り」が、実行委員会主催のもと開催されました。特設ステージで披露される地元住民の踊りや演奏、川向かいで打ち上げられる花火に大勢の来場者から大きな歓声が上がっていました。

第2回「納涼・わきもと元気祭り」

ニュース



阿久根陸上スポーツ少年団の幸大介さん（阿久根小6年）が、8月22日、23日に神奈川県で開催された第30回全国小学生陸上競技交流大会の共通男子80mハードルに県代表として出場しました。成績は自己記録を更新しましたが、惜しくも予選敗退となりました。今回の経験を糧にさらなる飛躍が期待されます。

阿久根小6年 幸大介さんが 全国小学生陸上競技交流大会に出場

ニュース



8月1日、道の駅前の国道3号沿いで、県警や阿久根警察署の職員、地域安全モニターの約40名が、通行車両の運転手にうちわ300枚を配布して、平成9年同日に発生した大川強盗殺人事件の情報提供を呼びかけました。

大川強盗殺人事件の情報提供を 「うちわ」で呼びかけ

体験学習



山下小学校6年生12人が8月24日、森林環境税の事業を活用した木工体験教室で、国産スギ材を使用したテーブル2台と椅子4脚を作りました。木目に焦げ目を入れるため、初めてガスバーナーを扱ったと話す倉村貫太さんは、「焦がし過ぎて大丈夫かなと思ったけど、ニスできれいになって良かった」とホッとした笑顔を見せていました。完成した机や椅子は、学校行事等で使用されるそうです。

山下小6年生が 木工体験教室

平成26年度

阿久根市小・中学校弁論大会

※中学生の部は10月号に掲載します

市の弁論大会で 自分の夢や意見を発表

市内の小・中学生による平成26年度阿久根市小・中学校弁論大会が8月1日、三笠中学校で開かれました。

各校の代表として小学生9人、中学生4人の弁士が登場し、審査員や先生、保護者の方々の前で、自分の将来の夢や目標、意見などを堂々と発表しました。

今月号では、小学生の部で市長賞を受賞された阿久根小6年、中西里奈さんの弁論を掲載し、中学生の部で市長賞を受賞された大川中3年、尻無遥香さんの弁論は次号に掲載します。
なお、大会結果については表の通りです。



▲「和食」を伝える大切さを伝えることの意味を、阿久根小6年の中西里奈さん

■小学生の部 市長賞

「日本の文化

と和食の良さを伝えたい」

阿久根小6年 中西 里奈

みなさん、和食と洋食、どちらが好きですか。きつと、洋食が好きだと答える人が多いのではないのでしょうか。そんなわたしも、小さいころは洋食派の一人。はつきり言ってみると和食は好きな方ではありませんでした。地味だし、

味がうすくて、野菜が多い。夜ご飯に和食が出てきた日は、「ああ、また煮物かあ。ハンバーグやオムライスが食べたいのに」と思う自分がいました。毎日、パスタやピザ、フライドポテトが出てきたらいいのに。わたしだけでなく、だれもが一度は思ったこと、ないですか。

わたしは、生まれたころから祖母と一緒に暮らしています。毎日、散歩し、よく笑いよく食べる元気

な祖母です。母が働いているため、一週間の半分は、祖母がご飯を作ってくれます。煮物や焼き魚、おみそ汁、おひたしに野菜。手際よく料理をします。にんじんやごぼうが嫌いで残しているとき、「食べたなら元気になるんだよ。」

「ちゃんと食べなさい」と言ってみると、無理やりわたしのお皿にのせてきます。「いやだな。何で食べないといけないの」祖母がこちらを向いているときに、こっそり、母のお皿にのせたこともありました。

そんな私も、祖母が毎日作り続けてくれた煮物のおかげで、和食を食べるのが好きになってきました。食べられるものが増え、だんだんおいしく感じられるようになってきたのです。

和食は2013年、12月に何とユネスコ無形文化遺産に登録され、日本の文化を象徴するものとなり



阿久根市小・中学校弁論大会に参加された皆さん

ました。でも、洋食は見た目がはなやかで、味もおいしいのに、なぜ洋食でなくて和食が選ばれたのだろうか。

調べてみると、和食には一汁三菜の組み合わせを基本とする文化があることがわかりました。

一汁三菜とは、主食、汁物、おかずのことで、エネルギーのもと

となるご飯、水分を補うみそ汁、その他の栄養をせつ取できるおかずに分かれています。

平安時代終わりごろの絵の中に、おぼんに器をいくつも並べて食事をする風景があるそうです。なんと、千年近くも日本人に受け継がれているのです。

日本は長寿の国と言われているですが、きつと伝統的に受け継がれてきた和食のおかげなのです。

実は、調べていくうちに、無形文化遺産に登録されたのは「ご飯」や「おみそ汁」などの料理そのものではないことがわかりました。日本の文化と深く関わっていることが重要だということです。

そう言えば、わたしの家族は、毎年さまざまな行事で決められた食事をします。正月前には祖母と

母が中心となり、わたしも手伝っておせち料理を作ります。ひな祭りにはちらしずし、大みそかには年越しそばを食べます。これらは、ずっと昔からわたしの家族に受け継がれてきている文化です。この文化そのものが、無形文化遺産に登録されたのです。

しかし、この素晴らしい伝統も、今、少しずつ日本からなくなろうとしています。一皿に盛られた食事。おせち料理なしのお正月。コンビニに行けば、いつでもさまざまな食べ物を手にすることができます。

ます。和食は昔から伝わる古き良き文化なのに、姿を消そうとしているのです。

日本の文化である和食をだれが伝えていくのか。それは、わたしたち日本人しかいないのではないのでしょうか。このままの形で未来へ残すために、まず、わたし自身ができること。それは、日本の文化について知ること。そして、もう一つ。祖母や母に和食の作り方を教わり、将来自分の子どもに伝えていくこと。

世界中に認められた和食。この和食のよさを次の世代へと受け継いでいくのは、わたしたちなので

【大会結果】（敬称略）

○市長賞

- ・中西 里奈（阿久根小 6年）
「日本の文化～和食のよさを伝えたい～」
- ・尻無 遥香（大川中 3年）
「バトンをつなごう」

○議長賞

- ・荒木 美優（脇本小 6年）
「仲間から教えてもらったこと」
- ・古賀うらら（三笠中 3年）
「夢の力」

○教育長賞

- ・小林 彩乃（鶴川内小 6年）
「優しさをくれる鶴川内が大好き」
- ・坂元 真優（大川小 6年）
「今までの自分を見つめ直して」

○入賞

- ・尾原由樹菜（田代小 6年）
「自分を変えたい」
- ・天辰 妃那（西目小 6年）
「日新公『いろは歌』とわたし」
- ・川崎 のあ（尾崎小 6年）
「フラメンコとわたし」
- ・花田 知優（山下小 6年）
「『本当の友達』とは？」
- ・浦田優希奈（折多小 6年）
「目指せ東京オリンピック」
- ・西村 琴絵（阿久根中 3年）
「『大人』になるために・・・」
- ・中園 梨夏（鶴川内中 3年）
「阿久根をより良く」

にぎわい交流館阿久根駅情報

7月号に引き続き「にぎわい交流館阿久根駅」のこだわりについてご紹介していきます。

▶阿久根駅のこだわり③

「本物の木のぬくもり～キッズスペース～」

カフェに隣接して設置されたキッズスペース。お母さんたちはカフェでくつろぎながら、子どもを遊ばせることもできます。

木をふんだんに使用した室内には、木のおもちゃが並び、子どもたちが安心して遊ぶことのできるスペースになっています。子どもの輝く笑顔が、まちを元気にし、活性化につながるとの思いが込められています。

「特に子どもたちには、本物の木に触れてもらいたい。

子どもは理屈ではなく、五感で上質なものを感じ取る力があり、幼い頃から本物に触れることは感性を育てる上でも貴重な体験となります。

色褪せて腐るのが自然の木、木目プリントやプラスチックを使ったのでは意味がない」

というのが、デザイナー水戸岡鋭治氏のこだわり。

中でも『木のプール』は、子どもたちに大人気で、直径4センチほどの木の玉が約2万個入っています。『木の音・匂い・肌触り・やさしさ』は、子どもの五感を刺激し、脳の発達にいい影響を与えます。

また、『木のプール』は、子どもだけでなく大人たちにもいい刺激を与えてくれます。



キッズスペース



▲子育てサークルの親子連れも利用。「うちの子は、木のプールが大のお気に入りみたいです」と利用されていたお母さんが話してくれました

◀キッズスペースの一角。カーテンを閉めれば授乳スペースに早変わりします



図書コーナー



◀館内で自由に読むことができる見本シールが貼られたジブリ関連の絵本

▶阿久根駅のこだわり④

「ゆったりとした時間を～図書コーナー・書店～」

☒ 書コーナーは、市民の皆さまからご提供いただいた本が並んでおり、列車の待ち時間やカフェに来られた際に、館内で自由に読んでいただくことができます。ゆったりとした時間をお過ごしください。

書店は徳間書店と提携しています。子どもたちの情操教育の一端を担いたいという徳間書店の思いが込められており、ジブリ関連の絵本をはじめ、子どもたちに読んでほしい本が並んでいます。**☑**見本シールが貼ってあるものは、館内で自由に読むことができますので、キッズスペースでの読み聞かせにご利用ください。購入をご希望の方は、売店レジまでお持ちください。

※問い合わせ先

- ・阿久根市 商工観光課 ☎0996-73-1114
- ・にぎわい交流館阿久根駅 ☎0996-73-4850

中学生と市長が語る会



阿久根の街の活性化策などについてさまざまな意見交換が行われた「市長と語る会」

阿久根の将来や活性化をテーマに中学生と市長が語る会

8月25日、市役所で市内4中学校の生徒と市長が阿久根の将来や街の活性化をテーマにした「市長と語る会」を開催しました。

4中学校からは生徒会役員や部活動の代表ら約20人が参加し、商店街の活性化策や特産品、観光PR、生徒減少の問題、学校給食のメニューの改善などさまざまな施策について意見を交換しました。なお、市では今後も、各種テーマに沿った団体の方を対象に随時開催していく予定です。

第23代シークィーンあくね



市役所を表敬された第23代シークィーンあくねの大戸真彩さん（左端）と花木愛さん（右端）

『第23代シークィーンあくね』市役所を表敬訪問

8月4日、第23代シークィーンあくねに就任された大戸真彩さんと花木愛さんの2人が、市役所を表敬訪問されました。

阿久根の美しい海を連想させるブルーを基調とした衣装で訪れた2人に、西平良将市長は「阿久根を一緒に盛り上げていきましょう」と激励しました。

シークィーンの任期は、来年7月末までで、市内で行われる各種行事に参加されるほか、県内外の観光宣伝やイベント等にも活躍していただきます。

市民交流センター住民説明会



市民交流センターおよび市立図書館設計業務に関する住民説明会

市民交流センター等の『基本設計』に関する住民説明会

8月3日、市民会館大ホールで市民交流センターおよび市立図書館の基本設計に関する住民説明会を開催しました。

当日は、設計業務に関するこれまでの経過の説明や設計者である(有)ナスカから、基本設計の内容についての説明が行われ、質疑応答・意見交換も行われました。

今後は、実施設計の策定に入り、来年度の工事着工に向けて作業を進めていく予定です。

波留公民館内の各種設備を整備



波留区公民館に整備された音響設備や会議用の演台、テーブル、椅子等の設備

波留区公民館内の音響設備等を宝くじの助成金で整備

7月31日、(財)自治総合センターの宝くじ助成を受けて、波留区公民館に壁付スピーカーやチューナーなどの音響設備並びに会議用の演台や椅子等の事務用品などが整備されました。

波留区長の大石啓元さんは、「公民館を新築したばかりで備品が乏しく、早く揃えたいと思っていたので、本当に助かりました」と話してくださいました。

働く女性の家 後期主催講座のご案内

※受講資格：18歳以上の市内在住または在勤の女性(高校生不可)

託児できます(無料)
対象：満2歳～未就学児

10月開講の講座(募集締切：9月26日(金)まで)

<p>リラックス・ヨガ (全8回)</p> <p>ストレスで固くなった身体と心をヨガでリフレッシュしませんか？ヨガを始めたい方、ぜひどうぞ。</p> <p>◆開催日 10月18・25日、11月15日、11月22・29日、12月6・13・20日(土)</p> <p>◆定員 20名</p> <p>◆開催時刻 午前10時～正午</p> <p>◆受講料 無料</p> 	<p>スマホ&タブレット講座 NEW (男性可・全7回)</p> <p>スマホ・タブレットの使い方为基础から学びましょう！ご自分のスマホ・タブレットをご持参ください。</p> <p>◆開催日 10月14・21・28日、11月4・11・18・25日(火)</p> <p>◆定員 15名</p> <p>◆開催時刻 午後7時～午後8時30分</p> <p>◆受講料 無料</p> 	<p>手ごねで美味しいアレンジパン (全6回)</p> <p>Jr.パンコーディネーターと美味しいアレンジパンを手ごねで作ります。</p> <p>◆開催日 1月7・21日、2月25日、3月4・11・18日(水)</p> <p>◆定員 16名</p> <p>◆開催時刻 午前10時～午後1時</p> <p>◆受講料 材料代 700円程度/回</p> 
---	--	--

<p>初めての手編み (全5回)</p> <p>アクリルたわしやネックウォーマーなどの編み方を学びます。手編み初心者大歓迎！</p> <p>◆開催日 10月18・25日、11月15・22・29日(土)</p> <p>◆定員 10名</p> <p>◆開催時刻 午前10時～正午</p> <p>◆受講料 材料代 1,000円程度</p> 	<p>ファーストサイン NEW (全3回)</p> <p>ママと赤ちゃん(1歳前後)のコミュニケーション術「ファーストサイン」を学びませんか。(子連れ参加可)</p> <p>◆開催日 ①10月7・21日、11月4日(火) ②10月14・28日、11月11日(火)</p> <p>◆定員 ①・②コース 各7名</p> <p>◆開催時刻 午前10時～午前11時30分</p> <p>◆受講料 資料代 1,080円</p> 	<p>素敵なアクセサリづくり NEW (全3回)</p> <p>ビーズなどを使って、普段使いのオリジナルアクセサリを作ります。</p> <p>◆開催日 10月17日、11月7日、11月21日(金)</p> <p>◆定員 8名</p> <p>◆開催時刻 午後7時～午後9時</p> <p>◆受講料 材料代1,000円程度/回</p> 
---	--	--

<p>おうちで楽しむキムチ漬け 昨年大人気 (全1回)</p> <p>今年の冬は、おうちで楽しめる本格白菜キムチ漬に挑戦してみませんか？</p> <p>◆開催日 1月27日(火)</p> <p>◆定員 16名</p> <p>◆開催時刻 午前10時～正午</p> <p>◆受講料 材料代 1,000円程度</p> 	<p>味噌づくり 毎年大人気 (全2回)</p> <p>手作り味噌を作ります。お昼をはさむので、昼食をご持参ください。</p> <p>◆開催日 10月21日(火)、23日(休)</p> <p>◆定員 24名</p> <p>◆開催時刻 午前9時30分～午後3時</p> <p>◆受講料 材料代 2,000円程度</p> 	<p>プリザーブドフラワー NEW (全1回)</p> <p>クリスマスの飾りにピッタリなプリザーブドフラワーを作ります。</p> <p>◆開催日 11月29日(土)</p> <p>◆定員 12名</p> <p>◆開催時刻 午前10時～正午</p> <p>◆受講料 材料費 2,000円程度</p> 
--	--	--

変化に負けない家計管理 (全1回)

増税、物価上昇に負けない家計管理術を金融広報アドバイザーから学びましょう。

◆開催日 11月15日(土)

◆定員 20名

◆開催時刻 午後1時30分～午後3時30分

◆受講料 無料



複数受講可。ただし、申込多数の場合は抽選を行います。受講決定者には、後日、ハガキでお知らせします。

※申込・問い合わせ先

- 働く女性の家 ☎ 0996-73-3769 (直通)
- 企画調整課 企画推進係 ☎ 0996-73-1214 (直通)
- FAX 0996-72-2029

◇メールアドレス kikaku@city.akune.kagoshima.jp

申 込 書

希望講座名	第1希望	第2希望	第3希望
受講申込者名(年齢)	(歳)		
住 所	阿久根市	連絡先(自宅・携帯)	
職業の有無	有 ・ 無	託児が必要な方	お子様の氏名 男・女 (歳)

潟土地区画整理事業 地区内未処分市有地 (旧保留地) 公売のお知らせ



■画地の坪単価
89万円〜2千602万円

約4万4千円〜約12万3千500円

■画地面積

72・20㎡(21・99坪)〜

1143・41㎡(345・88坪)

■補助金額

①潟土地区画整理事業地区内定住

促進補助金(担当 都市建設課)

・土地価格の10%

※限度額100万円

②阿久根市移住定住促進補助金

(担当 企画調整課)

・50万円

※本市以外の市町村から定住の

意思をもって転入した場合。

ただし、別途条件あり

③阿久根市定住促進対策木造住宅

建築補助金(担当 企画調整課)

・新築 30万円

・増改築 対象費用の100分の15

※限度額15万円

ただし、別途条件あり

市では、潟土地区画整理事業地区内の宅地造成した市有地を公売しています。

また、平成27年3月31日までの土地購入の際には、3つの補助金制度を設けていますので、ぜひご検討ください。

なお、詳細については、市のホームページをご覧ください。担当課までお問い合わせください。

■公売画地数 42画地

■画地価格

※問い合わせ先

・都市建設課 都市計画係

☎0996(73)1196(直通)

・企画調整課

☎0996(73)1215(直通)

市役所からのお知らせ

【第5回】消費生活コーナー 『架空請求』

今月号は『架空請求』についてです。

『架空請求』とは、根拠のない架空の事柄をもとにお金を請求してくる特殊詐欺の一つです。

さまざまな事柄を理由にしますが、いくつか例を挙げると次のようなものがあります。

①以前、購入したことのある健康食品の未払い

②アダルトサイトなどのサイト利用料

③請求内容についての記載はないが、未払いがある

以前は、ハガキや封書による請求がほとんどでしたが、最近では携帯電話やパソコンのメールによるものが増加してきています。

『架空請求』の書面には、請求の根拠となる具体的内容(業者名、サイト名、商品名、料金等)の記載はなく、「このまま放置すると裁判になる」と不安をあおり、「詳細については、記載してある電話番号に電話するように」と書かれています。誤って電話をかけた



メールの返信をしたりすると、住所氏名、電話番号等の個人情報も強引に聞き出され、その後、しつこく支払を要求してきます。実際に訴訟を起こされたという事例もあります。

対処法としてはまず、電話やメールの返信等は絶対にせず、放置することです。

また、『架空請求』かどうかの判断ができない場合は、消費生活センターにハガキや封書、メール内容をお持ちになり、相談してください。

※問い合わせ先

阿久根市消費生活センター

☎0996(73)1211(代表)

(内線1112)

健康コーナー 予防接種で病気に対する抵抗力を

後日、案内文を送付しますので、そちらをよくご確認ください

10月からの「予防接種」のお知らせ

※接種の際には、必ず予診票を持参してください。
予診票がないと、接種することはできません。

水痘（水ぼうそう）ワクチン

接種を受ける法律上の努力義務があります。対象者には、9月中旬に案内文を配布しますので、未接種の方や、かかったことのない方は予防接種を受けましょう。

■対象者

- (1) 1歳から3歳未満の方
- (2) 3歳から5歳未満の方（平成26年度のみ）

※すでに水痘にかかられた方は対象となりません。

■実施期間

10月1日(水)～

※ただし、休診日は除く

■接種回数

半年から1年の間隔で2回

※すでに接種された方は、その回数分、接種されたものとみなします。ただし、3歳以上の方は1回

■自己負担 無料

高齢者

インフルエンザワクチン

接種を受ける法律上の義務はありません。自らの意思で予防接種を希望する方のみが、自己責任で接種を行うものです。対象者には、9月中旬に案内文を配布します。

■対象者

- (1) 65歳以上の方（接種時点）
- (2) 60歳から65歳未満の方で、心臓や腎臓または呼吸器の機能に自

己の身の日常生活行動が極度に制限される方およびヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がい有する方。

■実施期間

10月1日(水)～12月31日(水)

※ただし、休診日は除く

■接種回数

1回

■自己負担 1千円

成人用肺炎球菌ワクチン

接種を受ける法律上の義務はありません。自らの意思で予防接種を希望する方のみが、自己責任で接種を行うものです。対象者には、10月中旬に案内文を配布します。

■対象者

- (1) 平成27年3月末時点の年齢が65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳以上の方
- (2) 60歳から65歳未満の方で、心臓や腎臓または呼吸器の機能に自

己の身の日常生活行動が極度に制限される方およびヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がい有する方。

※すでに肺炎球菌ポリサッカライドワクチンの接種を受けたことがある方は、副反応が出やすくなるため、対象となりません。

特に5年以内に再接種すると、副反応が出やすくなり、程度が強く現れます。

■実施期間

10月15日(水)～翌年3月31日(火)

※ただし、休診日は除く

■接種回数

1回

■自己負担 2千500円

結核レントゲン検診のご案内

65歳以上の方は、年1回は受診するよう感染症法で義務付けられています。検診の詳細については、お問い合わせください。

■対象者

5月の肺がん検診を受診された方
かつた65歳以上の方

■検診料

無料

■期間

10月8日(水)～10日(金)

※問い合わせ先

健康増進課 保健予防係

☎0996(73)1228(直通)

家族のため、自分のために今できること…



20・30歳代で子宮頸がん、40歳代で乳がんが増加
 この2つのがんは、早期発見・早期治療をすれば、より高い確率で完治することができます。

今回は、下表の通り、県民総合保健センター（集団検診）と博愛会・ヘルスサポートセンター鹿児島（完全予約制）を選択することができます。

なお、博愛会・ヘルスサポートセンター鹿児島（完全予約制）を希望される方は、事前に電話予約をお願いします。

この機会にぜひ女性が検診を受けましょう。

子宮頸がん・乳がん・骨粗しょう症検診のお知らせ

■料金表

	県民総合保健センター（集団検診）	博愛会・ヘルスサポートセンター鹿児島（完全予約制）
子宮頸がん（20歳以上）	700円	1,200円
乳がん（2方向 40歳代）	1,500円	1,800円
乳がん（1方向 50歳以上）	1,000円	1,300円
骨粗鬆症	200円	

■県民総合保健センター（集団検診）

受付時間【午前】午前8時30分～午前9時【午後】午前12時30分～午後1時

期 日	会 場	
	午 前	午 後
10月30日(木)	西目地区集会施設	西目地区集会施設
10月31日(金)	脇本地区公民館	脇本地区公民館
11月6日(木)	保健センター	保健センター
11月7日(金)	保健センター	鶴川内地区集会施設
11月8日(土)	脇本地区公民館	脇本地区公民館
11月9日(日)	保健センター	保健センター
11月11日(火)	保健センター	保健センター
11月12日(水)	保健センター	保健センター
11月13日(木)	保健センター	保健センター

予約不要

今まで通りの
集団検診です！

早期発見・早期治療の
第一歩は『検診』です



■博愛会・ヘルスサポートセンター鹿児島（完全予約制）

期 日	時 間	会 場
11月21日(金)	午前8時30分～ 午後5時までの指定された時間	保健センター
11月22日(土)		

電話予約が必要です！！ ※先着順で受け付けます。（定員200名）

①電話予約をする

▶博愛会健診事業部

☎099-224-1821

9月16日(火)～9月30日(火)

午前9時～午後5時

※土曜日は、午前9時～正午まで。

日曜日は除く。

②手紙が届く

- ・指定日時のお知らせ
- ・問診票

③検診を受ける

- ・子宮頸がん（約10分）
- ・乳がん（約20分）

阿久根市長選挙の立候補 予定説明会開催のお知らせ

12月21日(日)執行予定の阿久根市長選挙立候補予定説明会の開催についてお知らせします。

なお、説明会に出席される方は、印刷鑑をご持参ください。

◇日時 11月6日(木)午後1時30分～

◇場所 市役所2階 大会議室

※問い合わせ先

阿久根市選挙管理委員会事務局

☎0996(73)1267(直通)

木造住宅耐震事業 補助制度の案内

市では、昭和56年5月31日以前に建築(着工)した木造住宅の耐震診断・耐震改修工事への補助制度を実施しています。

この制度は、地震による木造住宅の倒壊等の被害を防ぎ、安全な建築物の整備を促進するため、耐震診断および耐震改修工事の費用に対し、予算の範囲内で補助金を交付するものです。

詳しくは、直接お問い合わせになるか、市のホームページを(ご覧ください)。

※問い合わせ先 都市建設課 建築係

☎0996(73)1198(直通)

がけに近接した 住宅移転への補助

市では、がけに近接した住宅(図参照)を移転する場合、住宅解体や新しい住宅の取得等に対して補助を行って

います。
移転を希望される方は、お早めにご相談ください。

■補助対象

高さ(図中のH)が2mを超え、この配が30度以上のがけに近接している住宅(図参照)で昭和46年8月31日以前に建築した住宅

■補助内容

◇危険住宅の解体費 限度額80.2万円

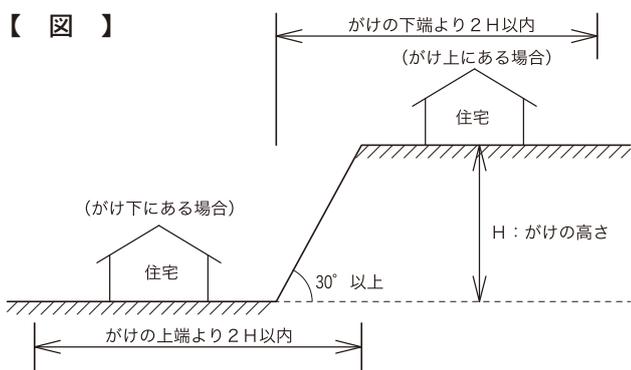
◇新しい住宅の建設・購入における借入金に係る利息 限度額457万円

◇土地購入における借入金に係る利息 限度額206万円

◇敷地造成における借入金に係る利息 限度額59.7万円

※問い合わせ先 都市建設課 建築係

☎0996(73)1198(直通)



※がけに近接している住宅とは、上図のとおり2H以内にある住宅のことです。

きっと自分にあった仕事が見つかる！ 自衛官募集！

- ◇防衛大学校(一般)…高卒(見込含)21歳未満
人文社会科学専攻・理工学専攻
・受付期間 9月30日(火)まで
・試験期日 11月8日(土)・9日(日)
- ◇防衛医科大学校 医学科…高卒(見込含)21歳未満
・受付期間 9月30日(火)まで
・試験期日 11月1日(土)・2日(日)
- ◇防衛医科大学校 看護学科…高卒(見込含)21歳未満
・受付期間 9月30日(火)まで
・試験期日 10月18日(土)
- ◇高等工科大学校(推薦)…男子で中卒(見込含)17歳未満
・受付期間 11月1日(土)～12月5日(金)
・試験期日 1月10日(土)～12日(月)の1日
- ◇高等工科大学校(一般)
…男子で中卒(見込含)17歳未満
・受付期間 11月1日(土)～1月9日(金)
・試験期日 1月24日(土)

※問い合わせ先

- ・自衛隊 鹿児島地方協力本部
薩摩川内出張所 ☎0996-22-2401
- ・市民環境課 住民年金係
☎0996-73-1218(直通)
- ・自衛隊募集相談員
西田一治(高之口区)、岩崎礼二郎(牛之浜区)
中面幸人(内田区)、松木博(槇之浦西区)まで



来 年春、小学校に入学する子どもを 対象とした就学時健康診断

大切なお子さまが、元気に小学校に入学していただくための健康診断を行います。対象者は必ず受診し、当日は保護者または、代理の方の付き添いをお願いいたします。なお、対象者には、9月中旬に就学時健康診断通知書を送付します。

◇対象者 平成20年4月2日～平成21年4月1日生まれ

◇場所 市民会館

◇受付 午後1時10分～午後1時30分

※健診は午後4時30分終了予定です。

◇期日

10月16日(木)

市街地(潟、大丸、波留、高松、上野、浜、本町、新町、倉津、遠見ヶ岡) 大川地区、西目地区、山下地区、鶴川内地区、尾崎地区、田代地区

10月17日(金)

赤瀬川地区、折口地区、多田地区、協本地区

※問い合わせ先

阿久根市教育委員会

学校教育課 指導係

☎0996(73)1258(直通)

まちのイベント紹介▶▶▶

10月6日(月)、
10月25日(土)・26日(日)

市民会館

あくね環境志民フォーラム

問い合わせ先

実行委員会
☎0996-73-2125

「くう、すん、そだッ、よかあんべ」食うに困らず、住んでよし、人も作物も育ついい塩梅のところ。この場所で豊かに生き続けるため、地球温暖化問題を一緒に考えてみませんか。冒険家の八幡暁氏を招き、シーカヤックイベントを行うなど、講師陣は最新の知見を持った気鋭の学者や研究者、タレントの方々です。(ホームページ: <http://akuneforum.org/>)

10月28日(火)
午前9時～

市総合運動公園
陸上競技場



第16回(公財)阿久根市
美しい海のまちづくり
公社GG大会

参加申込・問い合わせ先

(公財)阿久根市美しい海の
まちづくり公社
☎0996-72-1755
FAX0996-72-1513

- ◇参加資格 市内在住の方で、年齢・性別は不問。
- ◇参加費用 1チーム 1,000円(先着96チーム)
※大会当日に徴収
- ◇申込期限 10月15日(水)まで

障害者委託訓練生募集
パソコン事務科(3カ月コース)

◇応募資格

身体に障がいのある方で、早期の就職や復職を目指している方

◇訓練内容

パソコンを利用した訓練
ワープロ、表計算、インターネット等

◇訓練場所

(有)キズナキューエーパソコン
スクール(出水市)

◇特典

・授業料 無料
・ハローワークから受講のあつせんを受けられた方で、雇用保険を受給している方は、訓練期間中は給付されます。また、雇用保険を受給されない方は、職業訓練受講給付金または訓練助成金が支給される場合があります。

◇訓練期間(3カ月)

平成26年11月11日(火)～
平成27年2月6日(金)

◇募集期間 9月30日(火)まで

◇願書提出先

最寄りのハローワークまで

◇提出書類

入校願書、障がいを証明する手帳等の写し、写真1枚(縦4cm×横3cm)

◇選考方法 面接

・面接日 10月15日(水)午前10時～

※問い合わせ先

鹿児島障害者職業能力開発校
☎0996(44)2206

行政相談所の開設

市では、行政相談委員が、国の行政機関などの業務について、無料で相談に応じる行政相談所を開設します。

なお、秘密は固く守られますので、お気軽にご相談ください。

◇日時 10月20日(月)

午後1時30分～午後4時

◇場所 市民会館 第6会議室

※問い合わせ先

阿久根市の行政相談委員
濱崎いづみ

☎0996(72)0242

犬や猫は、マナーを守って飼いましよう

最近、犬や猫に関する苦情が増えていきます。阿久根市環境美化条例では、飼い主の方に適正な飼養管理とフンの処理義務が定められています。飼育のマナーを守り、フンの後始末も責任を持って処理してください。

また、飼い主がわからない犬や猫に餌付けする行為は、近くに住む皆さまの迷惑となりますのでお止めください。

※問い合わせ先

・市民環境課 環境対策係

☎0996(73)1219(直通)

・犬の登録・予防注射に関すること

健康増進課 保健予防係

☎0996(73)1228(直通)

オータムジャンボ宝くじは、1等前後賞合わせて3億9千万円。

宝くじの収益金は、明るく住みよいまちづくりに役立てられています。

◇発売期間 9月19日(金)～10月10日(金)

◇抽せん日 10月17日(金)

有料広告

よね だ けい ご
弁護士 米田圭吾 (鹿児島県弁護士会所属)

■ 出水法律事務所 ■

住所：出水市昭和町3-24
電話：0996-79-3535

相談時間 平日(月曜日～金曜日)
午前9時30分～午後5時まで

法律的なアドバイスが必要なこんな時…

- ・相続や遺言について聞きたい
- ・離婚をしたい
- ・借金のご相談したい
- ・経営が苦しい
- ・会社・個人事業の顧問になってほしい
- ・会社と従業員の問題で相談したい

その他、幅広い分野を取り扱っています。皆様がお困りのことについてお気軽にご相談ください。

※営業時間にご都合がつかない場合はご相談ください。



読者のお便り紹介



下村区子供育成会です。8月21日に、前阿久根郷土史会会長の濱之上訓衛さんを講師に招いて、集落内の史跡などを散策する歴史探訪会を開催したところ、集落内の小・中学生全員とその保護者ら22名の参加がありました。日露戦役記念碑や寺島宗則のご先祖である松木家のお墓、寛政11年旧暦3月10日に大島の金比羅祭りの帰路の際に遭難された方々を慰霊するために建立した沈溺庶霊塔の碑など、身近にある史跡を巡り、地元の良さを体感しましたよ。
(下村区子供育成会)



脇本地区運動広場近くの松林内に建立されている日露戦役記念碑前で記念写真を撮る下村区子供育成会の皆さん

身近な史跡を巡って、地元の良さを再発見できたみたいでうらやましいです。市内には、さまざまな史跡がたくさんあるので、ぜひ散策してみてください。

■投稿していただいた方に抽選で「阿っくん」のキーホルダーをプレゼントします。
※なお、一度当選された方は、抽選対象から外れますので、ご了承ください。



【応募方法】

郵送もしくはメールで、お便りをお寄せください。氏名（ペンネーム可）・住所・電話番号・年齢・性別・本紙へのご意見やご要望などをご記入ください。なお、掲載紙面の都合上、ご紹介できない場合もあります。また、他者を特定する情報は削除する場合があります。

【応募先】

〒899-1696 阿久根市鶴見町200番地
「阿久根市役所総務課きいてよ/阿っくんコーナー」まで
E-mail:info@city.akune.kagoshima.jp (フリーメールアドレスは不可)
☎0996-73-1208 (直通)

図書館へ行こう！

市立図書館 / ☎0996-72-0607

開館時間 / 午前9時～午後7時

郷土史コーナーのお知らせ

市立図書館では、阿久根市誌を分野別にまとめた「阿久根のことば（方言集）」「阿久根の文化財」「阿久根の地名」「阿久根のむかしばなし」「阿久根の人物」「阿久根の自然」の以上全六巻の双書が、郷土史コーナーにてご覧いただけます。読めばきっと新しい発見が！ぜひご利用ください。



阿久根市誌の双書（全六巻）は、市立図書館や（尚）書林、富浜書店にて各巻千円で販売しています。なお、阿久根市誌は2千円です。

新刊案内

- 『許されざるもの』 樋口 明雄(著)
絶滅したオオカミを外国から移入し、健全な生態系を取り戻すプロジェクトの試験放獣の地に南アルプスが選ばれた。反対派や地元民の説得、政治家の利権など、環境省・野生鳥獣保全管理官の七倉は幾多の困難に立ち向かうが…。
- 『幕末まらそん侍』 土橋 章宏(著)
安政2年、安中藩主・板倉勝明は、藩士の心身鍛錬を目的として7里余りの中山道を走らせた。ライバルとの対決に燃える男、どさくさ紛れに脱藩を企てる男、藩を揺るがす隠密男…。涙と笑いの痛快スポーツ時代小説。

- 『東大教授が教える独学勉強法』 柳川 範之(著)
テーマ設定から資料収集、本の読み方、集めた情報の整理・分析、成果のアウトプットまで。高校へ行かず、通信制大学から東大教授になった著者が、自ら学ぶことの意義と、その具体的なやり方を体系的に説明する。
- 『自動車・船・飛行機』 自動車技術会(監修)
日本と世界で活躍する自動車・船・飛行機を大きな写真や詳しい図解イラストで、わかりやすく紹介。それらの仕組みや技術、製造工程も取り上げる。

奥平 修子78 (中屋敷) 伊智美	牛之濱満義86 (左潟) 一康	和田チエ子94 (倉津) 秋吉	寺地 保 85 (尻無) 直子	鳥飼イツ子85 (段) 川邊博信	西田イツ子88 (高之口) 隆盛	池田ムツエ75 (天尾) 照男	下蘭タツエ98 (潟) 逸郎	植村 利則79 (山下馬場) 清子	寺地 世界82 (新町) 八重子	氏名 轡(区名) 代表者	おくやみ ※敬称略
-------------------	-----------------	-----------------	-----------------	------------------	------------------	-----------------	----------------	-------------------	------------------	--------------	-----------

健康やかな成長を お祈りいたします。	永田 翔真 将平 (段)	尾野島 琉丞 由丞 (市外)	川原 桜菜 浩司 (潟)	北原 聡恵 こず恵 (波留)	新留 紋佳 淳一 (段)	片山 晴人 真也 (潟)	氏名 保護者 (区名)	うぶいっえ ※敬称略
--------------------	--------------	----------------	--------------	----------------	--------------	--------------	-------------	------------

みんなのうた



《阿久根短歌会》

※送り仮名は歴史的仮名使いを使用しています。

被爆者の流す涙か降りそそぐ

祈りの映像に胸篤くいる

水温み笠山おろしおとろへて

峡の里にも桃の咲き初む

諍いさかひて幼児のごとく泣きじゃくる

老女なだむる介護士やさし

刈り終へて野草のほひ連れて来る

夫つまの背中が氣丈に動く

《阿久根俳句会》

題 「孟蘭盆」

過疎の村に新墓二つ盆の月

妹を杖と頼りて墓洗ふ

初盆の多き年なり竹を組む

子供等の影一つ無き盆の墓地

《薩摩狂句 阿ん文句会》

題 「痛い(二)」

痛いたか足あしよ 引き摺ひきずい踊おどつ 夏祭なつまつい

【唱】太鼓三味線鳴れば 痛いたさも忘わすれて

痛いたか腰こし 達者たっしゃな口くちが 齒痒はがゆなつ

【唱】口程くちほどにや動うごかん 腰こしもわが身みよ!!

林田シークイン

齊藤バリカン

弓木野良子

立山 幸子

中尾 啓子

谷口 俊明

有田イチエ

谷口久美子

野村カツエ

白濱 ノブ

今月の題字

阿久根

◀尾崎小6年
かわさき
川崎のあさん



<ひと言>

最近、一番楽しかったことは、6月に修学旅行で西目小学校の友だちと一緒に熊本へ行ったことです。

将来の夢は、メイクアップアーティストになることです。いつも、「メイクでどんな雰囲気になるかな」と考えながらデザイン画を描いてがんばっています。



日ごろお世話になって
いる河川をきれいに！

「阿つくくんは、阿蘇市のゆるキャラ？」と半年ほど前、他市の職員に何気に尋ねられたことがあります。確かに阿蘇の「阿」と阿久根の「阿」は同じ。だから間違えたのかもしれない。しかし、それだけ知られていないことが残念で悔しかったのを覚えています。そこで、お知らせです。現在、阿つくくんがゆるキャラグランプリに参戦中です(<http://www.yurugg.jp>)。ぜひご覧ください。(寺園)



赤瀬川地区の(株)海連の職員34名が、8月27日、日ごろお世話になつていいる同地区の河川をきれいにしよう、ボランティア清掃を行いました。同社は、平成17年に操業してから毎年、操業開始前と、終了後の年2回実施しており、今年で19回目とのことでした。

人のうごき (8月31日現在)

		前月比
人口	22,323人	(-37)
男	10,478人	(-12)
女	11,845人	(-25)
世帯数	10,480世帯	(-13)
●出生	7人	●死亡 31人
●転入	38人	●転出 51人

謹んで
お悔やみ申し上げます。

- 春田 正男89(的場) 剛
- 寺下 一郎81(町) 伸一
- 中原 ナミ89(宮原) 幸一
- 溝上ツル子94(羽田) 諭
- 大田 岳文63(尻無) 光子
- 松永 修行88(牛之浜) 上赤眞理
- 橋崎 良子65(潟) 直幸
- 津田テルミ86(上野) 実美
- 畑添 和之60(桐野上) 剛史
- 久保 榮里79(段) 司憲
- 富吉 貞雄84(遠見ヶ岡) チツ子
- 入尾野春雄75(椿) エミ子
- 富濱 為義95(黒之浜) 正美
- 下蘭トメノ93(尻無) 文男
- 寺下 幸吉90(浦) 和子



おまるとお かい
大丸通り会
の踊り子

今月の元氣者は、昔ながらの阿久根の夏祭りモンの伝統を残しつつ、祭りを盛り上げようと、昭和36年から踊り継いでいる大丸通り会の踊り子の皆さんです。メンバーは全員中学生以上で、専門学校生の谷村梨奈さんや高校1年生の石澤未来さん、飛松綾乃さん、中学3年生の渡邊渚さん、新塘佳奈さん、中学1年生の石澤笑瑚さんの6名。



師匠の谷村フミ子さんは、「踊り子は、ハンヤ総踊りの日の朝早い時間から地区内のお店や福祉施設など25カ所で踊りを披露し、そのまま総踊りに参加しています。披露している曲は、ハンヤ節を合わせて5曲。覚えが早くて感心しています。今後もずっと踊り継がれてほしいものです」と踊り子への思いを話してくださいました。

今年初めて、姉の石澤未来さんと一緒に踊り子を務める笑瑚さんに踊り子になられた理由等を尋ねたところ、「姉が踊っているのを見て、自分も踊りたいと思いました。自分たちの踊りで10月に開催されるみどこい祭りを盛り上げられたら」と意気込みを語ってくれました。

▶「昔は市内全域で多くの人が踊っていましたが、今は大丸だけ。寂しいものです」と師匠の谷村フミ子さん。踊り子は夏休み中、踊りを通して浴衣の着付けや作法等も学んでいます。



第8回 阿久根伊勢えび祭り

10月31日(金)まで



市内協賛店舗にて開催中
※のぼりが目印です

問い合わせ先
阿久根市観光連盟
「阿久根まちの駅」
☎0996-72-3646

阿久根の豊富な海・山の幸を活かした“食のまちづくり”の一環として、『阿久根伊勢えび祭り』を開催しています。お店ごとに特色ある伊勢えび料理が食べられます。旬のぷりぷりの伊勢えびをこの時季にぜひ味わってください。

有料広告

女性が一人でも安心して気軽に入れる店

お茶付弁当

おかずたっぷり・ご飯大盛り
エビ、唐揚げ、生姜焼き、副菜、デザート



¥500

喫茶 みんなの部屋 ☎64-6288

(場所) ジョイフルより南へ100m(8時~19時) 月曜休 阿久根市塩鶴町1-89 (店主) 岩崎一男

ご飯は新米こしひかり、予約で

有料広告

地域密着型 特別養護老人ホーム **あかい**

(仮称)



阿久根市高松区火ノ山の旧上野製作所跡地に、阿久根市の住民の方が利用できる施設として10月1日にオープン予定です。

▶お問い合わせ先
社会福祉法人 顕浄会
〒899-1603
阿久根市鶴川内字山崎1443
電話 0996 72-2287
F A X 0996 72-2284



お気軽にお問い合わせください

